

令和8年度（書道Ⅰ）シラバス

教 科	芸 術	科 目	書 道 I		
単 位 数	2	学 年	1	類 型	共 通
教 科 書	新編 書道 I （大修館書店）				
学習目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	漢字の書 書体の変遷 唐の四大家 北魏の書 隸書の特徴	- 書体や書風と運筆との関わりについて理解する。 - 基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付ける。 - 表現活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
2 学期	漢字の書 篆書の特徴 篆刻（名印の制作） 王羲之の書 三筆三蹟の書 書の鑑賞	- 篆刻の用具用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 - 書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 - 表現と鑑賞学習に主体的に取り組み、書のよさや美しさを感じ、意味・価値について考える。
3 学期	仮名の書 成立と特徴 古筆に学ぶ 漢字仮名交じりの書 漢字と仮名の調和 名筆に学ぶ 書の鑑賞	- 仮名の特徴を理解し、字形や構成を生かした表現をするための技能を身に付ける。 - 仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 - 漢字と仮名の調和した、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	- 書の表現方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 - 書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。	- 課題プリント - 提出作品
思考・判断・表現	- 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫している。 - 作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えている。	- 提出作品 - 課題プリント - 鑑賞レポート
主体的に学習に取り組む態度	書の伝統と文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	- 課題プリント - 鑑賞レポート - 振り返りと自己評価